(9) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭56—15974

(1) Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号 7610—3C 7620—2F **3公開 昭和56年(1981)2月16日**

発明の数 1 審査請求 有

(全 2 頁)

B 24 B 37/04 G 04 D 3/02

99角形時計額面ガラス等の斜面カットブラッシュ研磨装置

②特

顏 昭54—89057

20出

頁 昭54(1979)7月12日

⑫発 明 者 神谷茂男

鹿沼市万町916番地

⑪出 願 人 神谷茂男

鹿沼市万町916番地

第例によって説明すると、 本発明

シェ研磨機構入は、モーダー341に収集さ

個代 理 人 弁理士 福田尚夫

1. 発明の名称 角形特計額面ガラス等の斜面カットブラッツュ 尿曲体層

2.特許請求の範囲

本発明は周囲に斜面カットを有する腕幹針の痕

(5) と対策する数量 内には多数の吸引 (11) を複数配数し

> たら遊走音車 (14) 七中空回転収 他例と無関係に殴 とした大腸音車 (15) と暗合わせてある。そしてバ

キャームポンプ(関示していない)の数引管 (16) を中空回転収制的と進過すると共にその中空回転 25

-393-

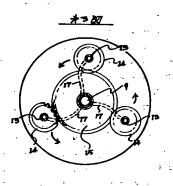
特際昭56- 15974(2)

収 値 (9) と各中空 収 質 輪 (15) と を 連 船 管 (17) で 離 い である。

以上から本発明装置によれば、従来手作業に銀よっていた角形時計額面ガラス等の表面の研磨、 斜面カット角のアール状形成を自動的に、迅速且 つ平均に行えるものであり。省力化と共に作業性 の著しいアップにより加工賞の低減をもたらすこ 5 とができるものでまことに有利なものである。

4. 脳面の簡単な説明

> 特許出版人 神 谷 茂 男 代理人 养理士 福 田 尚 夫



_*4 <u>**</u>